



サトリの ココロ

多くの人が孤立感、生きにくさを感じる今、
仏教に興味を持つ人が増えています。
僧侶に聞く、弱い自分と向き合う方法——

日蓮宗一妙寺・国内開教師
赤澤貞槇さん

第25回



人生の成功は 会社や結婚ではなく 「魂の成長」にあります

あかざわ・ていしん 1980年、東京都生まれ。僧侶の道を志して15歳で出家。2003年、立正大学仏教学部卒業。その間、20歳のときに日蓮宗僧階取得。2010年に日蓮宗国内開教師に就任し、東京・国立市に一妙寺を設立。毎月第4日曜に「お経と法話の会」を開催中。一妙寺／東京都国立市東4-2-6 ☎042-505-5349 <http://www5.ocn.ne.jp/~teishin>

私の父はサラリーマンでしたが、母方の実家が熱心な日蓮宗の信徒でしたので、小さな頃から日常的に仏教に触れて育ちました。転機は中学3年生のとき。日蓮宗総本山である身延山に初めてお参りに行ったときのことです。不思議なことに、「あなた、お坊さんになりなさい」という声が聞こえたのです。それまでの環境もあり、私は迷わず翌年、身延山高校へ。親元を離れ、寮生活を始めました。

内の寺で職員として働き、4年間勤め、退職して100日間の修行を成満しました。

国内開教師第1号として 小さなお寺作りがスタート

その後、日蓮宗国内開教師の募集を知り、「コレだ！」と応募。国内開教とは、寺院の少ない地域に赴き、お寺を作り、布教活動を行うこと。実は私も同じことを考えていました。銀行でお金を借り、いつかは自分でお寺を作りたい、と。数ある候補者の中から選ばれ、私は国内開教師第1号となりました。そして2010年、国立市に一妙寺を設立しました。

お寺といつても賃貸の一軒家。参詣者が15人も入れればいっぱいになる小さなお寺です。信徒さんと一緒にゼロからお寺を育てていく「育寺」を合言葉に、私のお寺作りが始まりました。

お寺はお葬式や法事をお願いするイメージかもしれませんが、私はむしろ生きていく間にこそ話を聞いてほしいと思います。仏教の話は聞き、生きるうえで参考にしてほしい……そんな思いから、「お経と法話の会」を始めました。何気なく使う言葉や日常生活の中にも仏教の教えがたくさんあります。それをわかりやすく伝えることが私の役目だと思っています。



右上・一妙寺の外観。右下・2010年の設立時。掛け軸と鬼子母神像があるだけで、祭壇は段ボールに風呂敷をかけた手製。下・現在は立派なご本尊も迎え入れた。



考え方をチェンジして 魂のレベルアップを目指して

世の中には人生での成功を求め、人がたくさんいます。では成功とは何か？ 世間的には、良い学校を出ること、良い会社に入ることに、そして結婚すること。この3つがうまくいっている人は成功と思われるでしょう。

でも、仏教での成功は違います。仏教では「魂の成長」魂のレベルアップこそが成功。仏教には、その魂のレベルアップのための教えがいろいろの手立てで説かれているのです。欲望や執着、ねたみといった煩惱は、庭の草のように取っても取っても生えてきます。こまめに草取りをして庭をきれいにするように、悪い感情もその都度出していくこと。これが魂のレベルアップにつながります。